



経営上のお悩み、相談しませんか？

「よろず支援拠点」は、国が平成26年度から全国に設置している無料の経営相談所です。中小企業の皆さまの売上拡大や経営改善等、経営上のあらゆるお悩みに対応します。

相談事例の紹介

従業員による事業承継！

担当コーディネーター

大井 勇一

01 相談のきっかけ



今回ご紹介する相談者は、小学生から高校生までを対象とする塾の取締役兼講師です。

現経営者は一身上の都合により退任と廃業を考えていましたが、相談者には「創業者の経営理念」「子供に寄り添った学習の場の提供」を引き継ぎたいという思いがありました。

しかし老朽化している建物の改修や移転の検討、収入の減少など、事業承継する場合は解決すべき課題が多くあり、まず何から手を付けるべきなのか、そもそも引き継ぐべきかどうかを迷っていました。そこでアドバイスが欲しいとのことで当拠点に相談にいられました。

02 現状分析と課題把握



ヒアリングする中で、コロナ禍での塾生数の減少、廃業に向けた新規塾生の募集中止が大きく収入減少に影響していたことが判明しました。

こちらの塾は難関校受験に向けて理数系科目に重点を置くだけでなく、不登校の子供達に向けた基礎からしっかりとやり直しができる学習を特色としており、営業次第で塾生数の復活は可能ではないかと思えました。そこで収入を増やし固定費である家賃の削減ができれば、事業の継続性を高めることができ、承継も有りだと判断しました。

03 解決策と提案の実施



まず家賃の削減に関して、移転した場合の周囲環境の変化や現塾生の通塾距離のリスク回避のことを考え、家賃が安い場所に移転するのではなく現在の場所で存続できるよう引き下げ交渉しました。また、競合塾と比較しても安いと思える月謝の体系見直しも行いました。

これらを軸に月次損益計算書を作成し、経営が軌道に乗るまでに必要な運転資金（借入予定）と目標となる損益分岐点売上高を算出しました。

04 支援の成果



実質譲渡で相談者に権利が移転。家賃の引き下げ依頼に家主側が応諾してくれたことで、結果的に相談者の初期投資額（運転資金＝借入）と予想損益分岐点売上高を低くスタートできました。

また、新規塾生の確保のため、私立中学校の受験日にチラシの配布を行った他、SNS上での募集を行いました。入会金や教材費の見直しも実施する予定です。

支援の結果、7月末には4月の倍近くまで塾生数が増えており、今後も更なる躍進が期待できます。



相談者の声

急な事業承継となり、どこに相談すべきか迷っていた中、相談後は事業承継から患病も交え、経営相談まで色々なことを相談させていただきました。先が全く見えなかった真っ暗な状態から、目の前に光が差し出しトントンと事が運んだと感じます。自分だけで悩むより相談して良かったと思いました。



株式会社東川塾

住所 高知市上町5丁目
5番地31号
TEL 088-873-5099

お問い合わせ・ご相談予約 (公財)高知県産業振興センター内 高知県よろず支援拠点

住所 〒781-5101 高知市布師田3992番地2 高知県中小企業会館5階

Email yorozu@yorozu-kochi.go.jp

TEL 088-846-0175

対応時間 8:30~17:15(土日祝日を除く平日)

高知県よろず

検索

